SEA&SEA

30117

1326-Z-01A

中間リング46 FC
取扱説明書

この度は、シーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解てから正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

お知らせ

本製品の外観に若干の色味の差、または筋状のもの(ウエルドライン)が見える場合がありますが、製品の品質・性能上問題はありませんので安心してご使用ください。

使用上のご注意

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

⚠ **注意** 取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

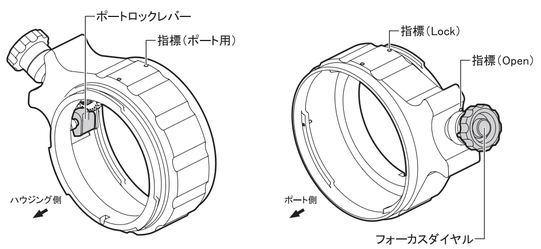
⚠ 注意

- ストロボ・ライト・アクセサリー類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- 本製品をご使用中に固定用ネジのゆるみ、ガタ等が発生しましたら、速やかに締めなおしてください。アームおよびストロボ・ライト・アクセサリー等の落下・損傷・紛失の原因になります。
- 砂やホコリ等のかかる場所での取り付けはおやめください。ネジ等に砂をかみ、取り付け不良の原因になります。
- カメラ固定ネジ等、ネジを必要以上に強く締め付けないでください。カメラ・ハウジング等の破損や浸水の原因になります。
- 本製品を絶対に分解・加工・改造しないでください。浸水や故障の原因になります。分解・加工・改造品の浸水・破損等の保証はいたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。
- 本製品を落としたり、振り回したり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
- 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は非常に高温になりますので絶対に放置しないでください。
- 水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 製品を濡れたまま放置しないでください。水滴がついたまま放置しますと、シミ・ムラとなって残ってしまう恐れがありますので、キズがつかない柔らかい布などで水滴をよく拭き取ってください。
- 本製品のご使用において、万一、お客様の取り扱い上の不注意による破損・損傷などが生じた際のカメラ・レンズ、その他のアクセサリー等の交換・補償はいたしかねます。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合、撮影内容・撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。

お手入れと保管上のご注意

- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- ご使用になった後は、十分に真水につけてから流水で洗ってください。
- 十分に真水に浸けなかったり、流水で洗うだけでは塩分が残り、乾燥すると塩は結晶となり水に溶けにくくなります。本製品に付着した塩の結晶は非常に取れにくく、浸水の原因になること もありますので、必ず真水に十分に浸けてください。
- 水洗いした後は、乾いた柔らかい布で水気をよく拭き取り、陰干しにして乾かしてください。
- 熱を発生する器具で強制的に乾燥させることは、変形や破損の原因となることがありますのでおやめください。
- 長期間ご使用にならないときは、高温・高湿、直射日光の当たる場所や、極寒になる場所を避けて保管してください。
- ナフタリンや樟脳の入った場所や、実験室のような薬品を扱う場所では本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。

各部の名称



中間リング46 FCについて

- 本製品は、弊社製デジタル一眼レフハウジング(MDXシリーズ)と対応ポート、対応レンズギヤを使用することにより本体のフォーカスダイヤルにてフォーカシングが可能となります。
- 本製品をご使用の際、操作性向上の為『左グリップエクステンション(別売)』との併用をお勧めします。

⚠ 注意

- 本製品をご使用いただくには別売のフォーカスギヤ FC が必要になります。
- 本製品は、弊社製RDXシリーズのデジタル一眼レフハウジングには対応しておりません。
- 本製品はご使用になる弊社製デジタル一眼レフハウジング(MDXシリーズ)の種類により、取り付け・取り扱い方法が異なりますので、ご使用になる際はお手持ちのハウジングをご確認の上、取扱説明書(本書)の取り付け方法をお守りください。
- 本製品を着脱する際は本体のフォーカスダイヤルを持たないでください。破損や浸水の原因となります。
- 誤った取り付け、取り扱い方法ではカメラ・レンズ・レンズギヤ等を破損させる可能性があります。

仕様

材質	耐腐蝕アルミ合金
寸法	１８７．４(幅)×１３２(高さ)×６１．４(奥行)mm
質量	約５２５ｇ
付属品	取扱説明書(本書)

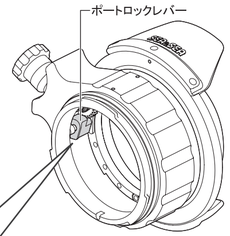
※仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ポートの取り付け

1 中間リングの指標(ポート用)にポートの指標(OPEN)を合わせてポートを押し込み、時計回りにポートを回転させる。

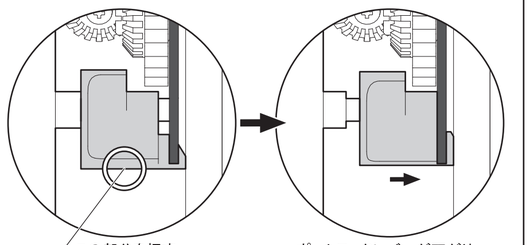
- 中間リングの着脱の際は本体のフォーカスダイヤルを持たないでください。破損や浸水の原因となります。
- ポートを取り付ける前にポートのOリング、Oリングの取り付け溝、中間リングのOリング接触面にキズ・汚れ・変形がない事を確認してください。
- 中間リングの指標(ポート用)とポートの指標(LOCK)の位置が合うところまで回転させてください。
- 取り付けが固く困難な場合は、ポートのOリングを取り外し、Oリングメンテナンスマニュアル(ハウジング付属品)に従い、Oリングのメンテナンスを行ってください。
- 無理に力を加えますとポート・中間リングが破損する場合がございますのでご注意ください。

2 中間リングのポートロックレバーを操作し、ポートをロックする。



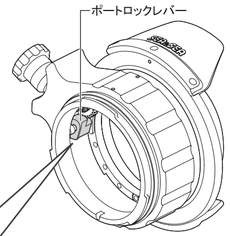
- ご使用の前にポートロックレバーが正しい位置にセットされ、ポートがロックされていることをご確認ください。
- ポートロックレバーが正しくセットされていない場合、ご使用時、ポートが回転し脱落・浸水の原因となる可能性がございます。ご注意ください。

ポートロックレバー操作方法



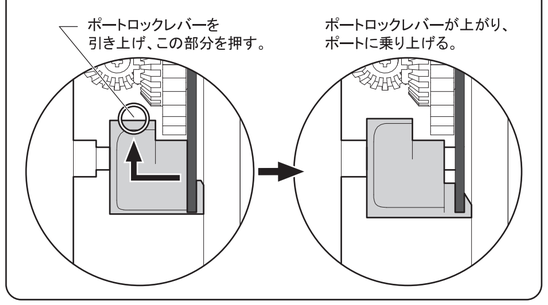
ポートの取り外し

1 ポートロックレバーを操作し、ポートのロックを解除する。

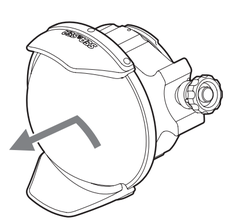


- ポートがロックされている状態でポートを無理に回転させると破損の原因となりますのでご注意ください。
- ダイビング後、そのまま放置されますと塩噛みや長時間の放置が原因で取り外しが困難となります。ダイビング後は真水で充分に洗った後、よく水気を拭き取りポートを取り外して保管ください。

ポートロックレバー操作方法



2 中間リングをしっかりと固定し、ポートを反時計回りに回転させ、ポートを引き抜く。

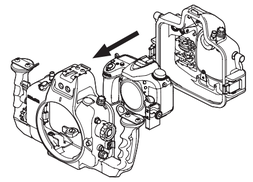


- 中間リングの着脱の際は本体のフォーカスダイヤルを持たないでください。破損や浸水の原因となります。
- 中間リングの指標(ポート用)とポートの指標(OPEN)の位置が合うところまで回転させてください。
- 無理に力を加えますとポート・中間リングが破損する場合がございますのでご注意ください。

レンズ取り外しボタンの『ある』ハウジングをお使いの方

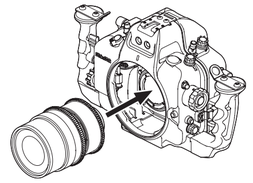
中間リングの取り付け

1 ハウジングにカメラをセットし、リアケースを閉じる。



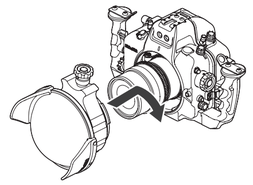
- カメラのボディキャップは付けたまま行ってください。

2 ハウジングを立てて置き、ハウジング正面からレンズをカメラに取り付ける。



- レンズには対応のレンズギヤを取り付けた状態で行ってください。
- レンズギヤの取り付け方法はレンズギヤの取扱説明書をご覧ください。
- カメラやレンズに埃などが入らないようハウジングは必ず立てて行ってください。

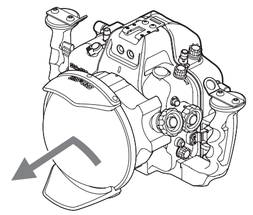
3 ハウジングのポートロックが解除されていることを確認し、ポートをセットした中間リングを取り付け、ポートをロックする。



- 中間リングの着脱の際は本体のフォーカスダイヤルを持たないでください。破損や浸水の原因となります。
- ポートを取り付ける前にポートのOリング、Oリングの取り付け溝、中間リングのOリング接触面にキズ・汚れ・変形がない事を確認してください。
- 取り付けが固く困難な場合は、ポートのOリングを取り外し、Oリングメンテナンスマニュアル(ハウジング付属品)に従い、Oリングのメンテナンスを行ってください。
- 無理に力を加えますとポート・中間リングが破損する場合がございますのでご注意ください。
- ポートのロック方法はハウジングの取扱説明書をご覧ください。
- 無理に中間リングを押し込むとカメラ・レンズなどを破損する場合がございます。ご注意ください。

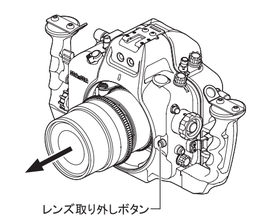
中間リングの取り外し

1 ポートロックを解除しハウジングを立てて置いた状態でポートを取り外す。



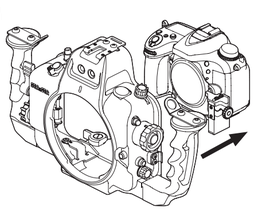
- 中間リングの着脱の際は本体のフォーカスダイヤルを持たないでください。破損や浸水の原因となります。
- ポートがロックされている状態でポートを無理に回転させると破損の原因となりますのでご注意ください。
- ハウジングのポートロックレバーの操作方法はハウジングの取扱説明書をご覧ください。
- カメラ・レンズの破損につながりますのでハウジング・ポート類の水分は充分に拭き取ったから行ってください。
- ダイビング後、そのまま放置されますと塩噛みや長時間の放置が原因で取り外しが困難となります。ダイビング後は真水で充分に洗った後、よく水気を拭き取りポートを取り外して保管ください。

2 ハウジングのレンズ取り外しボタンを操作し、レンズを取り外す。



- レンズ取り外しボタンの操作方法はハウジングの取扱説明書をご覧ください。
- カメラやレンズに埃などが入らないようハウジングは必ず立てて行ってください。
- 作業後はカメラ・レンズにボディキャップ・レンズキャップを取り付けてください。

3 ハウジングのリアケースを開け、カメラを取り出す。

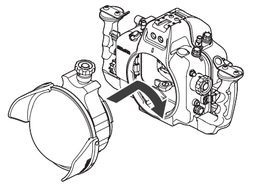


- カメラのボディキャップは付けたまま行ってください。

レンズ取り外しボタンの『ない』ハウジングをお使いの方

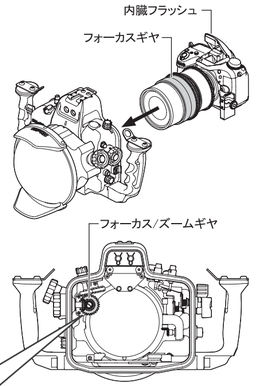
中間リングの取り付け

1 ハウジングに中間リングを取り付け、ハウジング内部からポートをロックする。



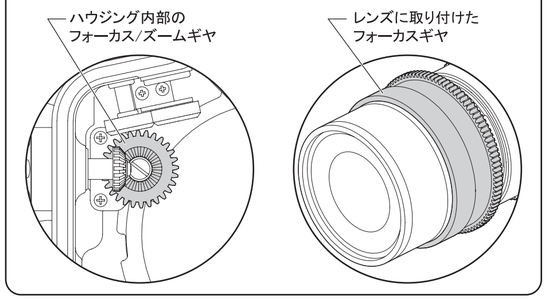
- 中間リングの着脱の際は本体のフォーカスダイヤルを持たないでください。破損や浸水の原因となります。
- ポートを取り付ける前にポートのOリング、Oリングの取り付け溝、中間リングのOリング接触面にキズ・汚れ・変形がない事を確認してください。
- 取り付けが固く困難な場合は、ポートのOリングを取り外し、Oリングメンテナンスマニュアル(ハウジング付属品)に従い、Oリングのメンテナンスを行ってください。
- 無理に力を加えますとポート・中間リングが破損する場合がございますのでご注意ください。
- ポートのロック方法はハウジングの取扱説明書をご覧ください。
- 対応ポートは事前に中間リングへ取り付けてください。

2 レンズ・レンズギヤを取り付けたカメラをハウジングに取り付け、リアケース閉じる。



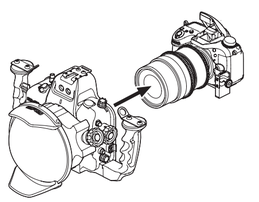
- ハウジング内部のフォーカス/ズームギヤとレンズ/レンズギヤが接触しないよう交わしながら取り付けてください。
- 遮光プレート(ハウジング付属品)の使用により、カメラの内蔵フラッシュをポップアップさせて状態でカメラをセットする際は、ケースと内蔵フラッシュが接触しないよう取り付けてください。
- ハウジングにレンズ・レンズギヤ・カメラを接触させると、キズや破損が発生する可能性がございますのでご注意ください。
- カメラクイックシューをロックする前に、ハウジングのフォーカス/ズームダイヤルと中間リングのフォーカスダイヤルを操作し、レンズギヤが正しい動作する位置に取り付いていることを確認してください。
- レンズギヤのレンズへの取り付け位置はレンズギヤの取扱説明書をご覧ください。

カメラ取り付けの際、ギヤ・レンズの接触に注意



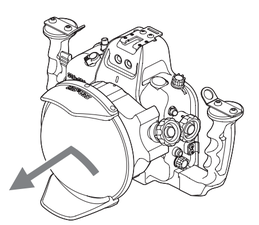
中間リングの取り外し

1 リアケースを開け、カメラをハウジングから取り出す。



- ハウジング内部のフォーカス/ズームギヤとレンズ/レンズギヤが接触しないよう交しながら取り外してください。
- ハウジングにレンズ・レンズギヤ・カメラを接触させると、キズや破損が発生する可能性がございますのでご注意ください。

2 ハウジング内部からポートのロックを解除し、中間リングを取り外す



- 中間リングの取り外しはハウジング内部のポートロックを解除してから行ってください。解除せず取り外し作業を行うとハウジング・中間リングを損傷させてしまいますのでご注意ください。
- 中間リングの着脱の際は本体のフォーカスダイヤルを持たないでください。破損や浸水の原因となります。
- 無理に力を加えますとハウジング・中間リングが破損する場合がございますのでご注意ください。

SEA&SEA
http://www.seaandsea.co.jp
シーアンドシー・サンパック株式会社
〒145-0062　東京都大田区北千束1-4-6　TEL.03-5701-5533
カスタマーサービスセンター　TEL.048-255-8512

1326-Z-01A
(2014年05月現在)